

京都市立芸術大学音楽学部同窓会

真声会

会報 第74号

2022年5月1日

喪失と再生

真声会会長 登博美(20期・トロンボーン)

今年2022年に京都市立芸術大学音楽学部は創設70周年を迎えます。1952年に全国初の公立音楽大学として京都市立音楽短期大学が創設され、1969年に京都市立美術大学と統合されて京都市立芸術大学音楽学部となりました。そして2023年度にはJR京都駅東部への全面移転が予定されており、現在も移転に向けて建設工事が順調に進められています。真声会としても新キャンパスへの移転に合わせて記念事業を実施すべく、企画、準備を進めているところです。

「京都芸術大学」の名称を巡る訴訟は昨年7月に大阪地裁で和解し、学校法人瓜生山学園に「京都芸術大学」の使用を認める一方、略称の「京都芸大」「京芸」は京都市立芸術大学が使うことなどの内容で一定の決着をみたところです。

しかしながらこの大学名を争った余波なのか、未だに様々なところで問題が燻っています。その一つとして京都芸術大学が大学前のバス停の名前を「上終町京都芸術大学前」に変更してほしいと京都市交通局に要望していましたが、市交通局は市バスのダイヤ改正に伴い3月にバス停名を「上終町京都造形芸大前」から「上終町・瓜生山学園京都芸術大学前」に変更しました。これに対して京都芸術大学は抗議に近い通知書を交通局に送る一方、「略称に関

しては本学（京都芸術大学）をどう呼ぶかは市民の皆さんの自由と考えている」とコメントしています。

また、略称に関してもいろいろな不正使用が見受けられており、市立芸大ではインターネットや卒業生からの情報提供などから「京都芸大」の使用について注意喚起や修正依頼を行っています。この略称に関しては今後も混乱が予想され、“真の和解”への道のりはまだまだ厳しいようです。

さて、ロシアのウクライナ侵攻を受けて、芸術文化においていち早く反応したのはクラシック音楽界でした。海外ではロシアの指揮者や歌手が解任、降板となった例が相次ぎ、ロシア人作曲家の作品の演奏が忌避されました。我が国においても、コンサートで予定していたロシアの作曲家、チャイコフスキーの序曲「1812年」の演奏を見送り曲目を変更する一方、ウクライナへの連帯を示す演奏会が開催され、同国ゆかりの曲が演奏されるなどしています。

一般に、芸術の場に安易に政治的題材を持ち込むことには慎重であるべきです。政治的な意思決定の過程に光を当てることなく芸術の力を用いて特定の見解の正当性を主張することはあってはなりません。一方で、これは必ずしも政治的な題材を一切扱ってはならないということを意味するものではありません。

会長巻頭言	1
真声会賞報告・受賞者レポート	2
卒業式・入学式の報告	5
大学名称問題と和解 / 両同総会の声明	6
京芸だより	7

各支部活動報告	8
コンクール等受賞者	10
後援演奏会情報	12
真声会活動報告・総会案内・お悔やみ	14
教育活動支援寄付金のお礼	15

せん。政治的な事象の真ただ中にある極限状態の人々の感情に共鳴することは人間として自然の行為であると思います。

ウクライナ侵攻で攻撃を受けたハルキウ(ハルコフ)の州庁舎前で、チェロ奏者がバッハの「無伴奏チェロ組曲第5番」を奏でる動画が反響を呼んでいます。地元出身の演奏者は「建物を破壊できても魂は破壊できない」「みんなを支えたい」と思い、「破壊の街」と化したハルキウで演奏したということです。青空の下で映し出された建物は、窓ガラスがなくなり、あちこちが黒く焦げています。道路にはガレキも散乱していて、人の気配はありません。そうした中、1人の男性が座ってチェロを演奏しています。彼が選んだ第5番は「最も悲劇的」な曲ですが、続く6番は「復活」を意味する曲で、成就し遂げた後の喜びの曲であるとも言われています。

今年の第94回米アカデミー賞で日本映画「ドライブ・マイ・カー」が国際長編映画賞(旧外国語映画賞)を受賞して話題となりました。この映画は、村上春樹さんの短編小説を原作に、ある演出家の「喪失と再生」を描く作品と形容されています。妻を失い喪失感を抱えながら生きる主人公の演出家を取り上げた古典演劇がロシアの作家アントン・チェーホ

フの戯曲『ワーニャ伯父さん』なのです。ロシアによるウクライナ侵攻の最中、偶然ではありますがこの映画にチェーホフの戯曲が取り上げられ、「喪失と再生」がテーマとなっているとは皮肉なことです。

新型コロナウイルス感染拡大による文化イベント自粛要請に加え、緊急事態宣言による文化芸術への影響で、この2年間ホール公演は相次いで中止や延期となり、音楽家は経済的、精神的に厳しい状況に追いやられました。驚いたことにその結果は、最も影響を受けたと言われる観光、飲食など他の業種と比べても変わらないほど甚大な損失を被っており、支援を受けても厳しい状況に置かれている実態が明らかになりました。

このままの状況を放置すると、新型コロナウイルス感染症収束後の文化芸術の再生・創造はさらなる困難に直面することが予想されます。

今ある世界中の様々な問題への解決や出口が見えず喪失感だけが漂う現在、再生に向け私たちは何かにつけて模索していかなければなりません。そのためには更に柔軟かつ前向きな思考を持ち、キャリアの可能性を広げることが不可欠であり、自らの力でより変容していかなければならないのではないのでしょうか。

第6回 真声会賞は 田村紗矢香さん(ヴァイオリン専攻)が受賞

真声会専務理事 杉中 博(19期・トランペット)

真声会賞とは京芸在学中に受講されたすべての学業において、総合的に成績優秀と認められる卒業生を真声会学内委員の先生方に数名選出いただき、それぞれ任意のレポート提出をお願いし、それをもとに真声会理事会で選考しています。

令和3年度卒業生の皆さんは学生生活の半分以上、COVID-19に翻弄され、学習や研究、演奏活動など様々な制約の中での卒業となりましたが、ご提出いただいた3名の方のレポートからは音楽に対する真摯な姿勢を感じ、いずれも甲乙つけがたいものでした。

タイトルが「現代音楽作品を演奏するということ」とのレポートでは、現代音楽の啓蒙に積極的にかかわろうという意欲を感じました。「音楽家にできることは何か」とのレポートでは、いかなる時代におかれても音楽を絶やさないという強い意志を感じました。

「音楽を続ける理由」とのレポートでは、生演奏での臨場感や達成感を素直に述べられていました。理事会で慎重審議の結果、まことに僅差ではありましたが、田村紗矢香さんを選ばせていただきました。

真声会賞の選考にあたりまして、京芸事務局、学内委員の先生方のご協力に厚くお礼申し上げます。

卒業生の皆様には今後のご活躍、ご発展を祈念しまして報告とさせていただきます。

真声会賞受賞者よりメッセージ



この度は名誉ある真声会賞を頂戴し、誠に光栄に存じます。入学以来、丁寧にご指導くださった先生方、切磋琢磨し支え合ってきた仲間達、そしていつも温かく見守り支えてくださった大学関係者の皆さまのおかげであると実感しております。この場を借りて深く感謝申し上げます。これからも音楽家として自分にできること、そして芸術の存在意義を考えながら、演奏を通して多くの方々の心に寄り添えるようより一層精進してまいります。

真声会賞受賞者レポート

音楽家にできることは何か

田村 紗矢香 (67 期・ヴァイオリン)

自宅にいと近所の子供のはしゃぐ声が聞こえる。街に出るといつもと変わらず忙しい日常がそこにある。しかし一方で、隣の大陸では侵略戦争が起きている。砲撃や空襲に怯え避難する人、そして愛する街を守るために家族と離れて戦う人で溢れていて、京都市の姉妹都市である芸術の街キエフまでもが戦場と化してしまった。私は毎日の痛ましい報道を聞いて無力感に打ちひしがれている。一方的な侵略行為は許されるものではないし戦争には断固反対だ。でも今私の手にあるものは武器ではなく楽器で、現地に行って戦う力も、一国の長に「侵略行為をやめろ」と直接説得する力もない。音楽を勉強し演奏する自分にできること、表現者である自分だからこそできることは一体何だろうか。人々にとって音楽とは何なのだろうか。

今起きている侵略戦争の影響は、音楽界にも大きく及んでいる。ドイツのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団では、世界的指揮者でロシア大統領と長年の友人である首席指揮者ワレリー・ゲルギエフさんに対し、ロシアの軍事侵攻について明確に反対しなかったとして、解任を決定した。ロシア人指揮者であるトゥガン・ソヒエフさんは、「フランス＝ロシア・フェスティバル」を企画するなど音楽の国際交流を実現してきた指揮者だったが、先日ロシアのボリショイ劇場の音楽監督兼首席指揮者と、フランスのトゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団の音楽監督の双方を自ら辞任した。その理由はソヒエフさんが「愛するロシアの音

楽家たちと愛するフランスの音楽家たちのどちらかを選ぶという不可能な選択を迫られた」からだと報じられている。また、国内の演奏会ではロシア戦勝曲であるチャイコフスキー作曲の大序曲「1812 年」の演奏を取りやめる動きもでている。

これらの報道を耳にして非常に残念な気持ちになった。経営上・聴衆の心理上の問題には一定の理解を示せるとしても、私は音楽活動と個人の政治信条は切り離して考えられるべきだと思う。ロシアの音楽家個人に、ロシアで生まれた音楽に、罪はあるのだろうか？ 私はそう思わない。音楽は本来、人と人を切り裂くものではないはずである。少なくとも人を否定し排除する手段では決していない。

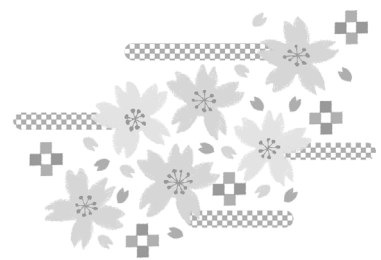
音楽はどんなときも歴史とともにあり、様々な場面で人々に幸せを与え、傷ついた人々を癒し、死者を弔ってきた。しかし戦争中においてはプロパガンダの手段として利用されることも多かった。自国が偉大であることを音楽によって印象付け国民を洗脳するだけでなく、敵国の音楽を悪い文化の象徴であるとし排除するような運動も行われた。例えば第二次世界大戦中、クラシック音楽においては日本では同盟国であったドイツの作品は演奏できたが、敵対国であった欧米の作品は演奏が禁止されていた。また、天皇を称賛する歌や軍歌などが国によって多く作られ、当時の庶民的な流行音楽については厳しい取り締まりが行われていた。

国からの厳しい検閲で自由な表現が許されない中、不本意ながらも国の体制を称える音楽を作曲させられた音楽家もいた。一人例に挙げるとすれば、ロシア(当時ソ連)の作曲家ショスタコーヴィチ(1906-1975)だろう。彼を含めた旧ソ連の多くの作曲家が国から強い批判を受け、名誉回復のために国家体制を称賛するような曲を次々と作曲した。ショスタコーヴィチ作曲の交響曲第7番《レニングラード》は、第二次世界大戦の最中、ナチス・ドイツ軍に包囲されていたロシアのレニングラード市内(現在のサンクトペテルブルク)で作曲された。軍隊が突き進むようなスネアドラムのリズムや、緊迫感のある木管楽器や弦楽器の音色、力強い勝利を飾るファンファーレのような金管楽器のハーモニーは特徴的で、その時の情景を明確に想像させる。表向きには体制を称賛する音楽であるはずだが、私は彼の交響曲を演奏するとき栄光を表現するその力強い音楽の裏に、やり場のない怒りや強い権力によって強制されている苦しみを感じて胸が痛くなる。実際に、音楽学者ソロモン・ヴォルコフによる書籍「ショスタコーヴィチの証言」では、彼は政治的抑圧に耐え、自分の求める音楽と体制の求める音楽との狭間で苦しんでいたことが書かれている。そんな中でも曲を書き続け表現することをやめなかった音楽家がいたからこそ、今なおこうやって世界に歴史が語り継がれているのだと思う。

戦争を題材とした作品は数多く残されているが、もちろん音楽はいつも悪用され続けてきたのではない。

まさに今この瞬間、世界各地で戦争の犠牲者や苦しむ人々に思いを馳せて演奏し、チャリティーコンサートを行っている。ウクライナと隣国の一部国境にはピアノが置かれ、避難民たちの心を癒している。首都キエフでは地元のオーケストラが野外コンサートを行い、地元の住人たちに勇気を与えている。音楽が人に与える影響力はとても大きい。だからこそプロパガンダなどに悪用されることもあるが、21世紀である今はどうか、人々を思い平和を祈る手段として音楽の力が最大限に利用されてほしい。現地に行って応援することは叶わないが、世界とひとつになり祈りを捧げたい。

たとえ言論の自由が奪われ重要な歴史的建造物が破壊されたとしても、世界共通言語である芸術は常に世界中の人々の心にあり、人々に訴えかけることができる。そこにある芸術作品に意味を与えるのは作品の美しさや歴史を知る人々であり、今まで受け継がれてきた音楽を後世に伝えていくことができるのは、音楽を愛する私たちだ。芸術の灯を絶やさぬよう音を紡いで人々の心に寄り添い続け、歴史の語り部となることこそが音楽家である私たちの使命ではないだろうか。そして私は、その使命を全うできる音楽家、そして表現者であることをこれからも目指したい。ロシア・ウクライナ双方の苦しむ人々に思いを馳せ、一刻も早く地球上から残酷な争いがなくなるように祈りながら、今日も楽器を手にとり音楽を奏で続ける。



令和 3 年度 卒業式に参列して

真声会理事 山本 毅（24 期・打楽器）

2022 年 3 月 23 日、令和 3 年度美術学部・音楽学部卒業式並びに大学院美術研究科・音楽研究科学位記授与式が、新型コロナウイルス感染症対策のため、卒業生、修了生とご来賓の皆様、教職員のみで、2 部に分けて執り行われました。音楽学部の卒業生 63 名、音楽研究科修士課程修了生 23 名、ご来賓の皆さまや教職員に温かく見守られて送り出されました。会場に入っただけなかった御家族の皆様、関係者の皆様には、動画のライブ配信で御視聴いただきました。

例年なら専攻ごとの代表者が卒業・修了証書を受け取るのですが、今年は感染症対策のため、学部・研究科の代表者のみが受け取りましたし、今まで万難を排して出席し続けてくださった門川京都市長も録音による祝辞を下さしまして、例年とは異なる簡素な式となりました。

しかし、卒業生・修了生の「何かをやり遂げた感」に満ちた明るい表情には今年も大いに希望を与えられたよき時でありました。

卒業生・修了生の皆さま、本当におめでとうございます。
今後のご活躍を祈ります。



令和 4 年度 入学式に参列して

真声会副会長 樋上 由紀（19 期・ピアノ）

入学式当日は、日差しがキラキラと輝き、青空が抜けるような暖かな天候に恵まれた日となりました。今年もコロナ対策として、学生のみでの出席で、家族の皆さんはオンラインで同時配信の参加となりました。式典も学部生と研究生を二部制に分けられて行われました。とは言え緊張した面持ちの中にあっても、若い方々の夢や希望に溢れた熱気が会場に満ちていました。



今年度は、美術学部 135 名、音楽学部 65 名、美術研究科修士課程 58 名、音楽研究科修士課程 23 名、美術研究科博士後期課程 10 名、音楽研究科博士後期課程 1 名の総計 292 名が入学されました。

開式に当り、恒例の音楽学部在学生の歓迎の演奏が式典に花を添えていました。

入学生代表の宣誓の後、赤松玉女学長の式辞がありました。その中で、今年京芸は創立 142 年目となり、音楽学部は 70 周年の記念の年であること。芸術は時代や社会の動きから敏感に影響を受けるものであること。この 2 年のコロナのパンデミックや厳しい国際情勢の中にあって、

より芸術が重要な役割を担うことが期待されること。なぜなら芸術は人々の幸福や平和につながっていること等のお話が印象的で、芸術の“美や調和”が人を癒し、心を浄化し、命の尊さを感じさせるものであり、人間の本质と強く結びついているものであることを強く感じさせていただける式辞でした。

門川市長の祝辞では、歴史豊かな京都から大いに刺激を受けて、学びを充実させ、世界に羽ばたいて活躍されることを。又ウクライナのキーウと京都は姉妹都市でもあることから、助け合うことや文化芸術で勇気付ける活動を等、若い方達ならではの新しい発想で活動されることを願われていました。

入学された皆さんがこの大枝杵掛のキャンパスで学ばれるのは、2023 年秋に予定されている移転までの残り 1 年半のみとなりました。自然豊かなこの土地での学生生活を大いに満喫してほしいと思うと同時に、厳しい社会状況だからこそ、ご自分の芸術を深めるチャンスと捉えて、自由に大胆に学ばれるよう、心より願っています。

大学名称問題和解 / 両同窓会の声明

2019年夏、私たち京都市立芸術大学(京都芸大)〈以下本学という〉の美術・音楽学部両同窓会は、瓜生山学園旧京都造形芸術大学が「京都芸術大学」へ名称変更する予定と聞き、共に創造的芸術活動を教育の要とする大学において、「あり得ない」との思いを抱きましたが、その本気度を知るに及んでこれに強く反対し、本学を支持し応援することを表明いたしました。本学は名称使用差し止めを求めて大阪地裁へ提訴しましたが一審判決は本学の主張を退けました。本学はこの判決を不服として同9月に控訴しましたが、大阪高裁の勧告もあり2021年7月20日に当事者相方は和解に至りました。

和解内容は、本学が瓜生山学園に対して「京都芸術大学」を使用することに異議を述べないこととし、瓜生山学園京都芸術大学は本学に対して「京都芸大」及び「京芸」を使用することに異議を述べないというものでした。

両同窓会は、反対署名や裁判支援カンパの呼びかけなど反対の活動を行ってきましたが、それは当事者として同じ思いで訴訟の先頭に立つ本学(理事長)を支援し応援する立場からの活動でありました。

この度の和解について、同窓生からは「和解と言っても実質敗訴であり、認めることはできない」「瓜生山学園に法的瑕疵が無いとすれば、和解できたのは評価すべき」「裁判に馴染む問題で無く、大学の価値は名称で決まるわけではない」という意見や「大学名称を商標登録する努力を怠ってきた当然の結果だ」という忸怩たる思いも聞こえてきました。

両同窓会は、このように様々な意見や思いがあることを承知した上で、当事者である大学が決断した和解であることを尊重したいと思っております。そして当事者が和解した調書の内容を私たちも遵守してまいります。

さらに、本学の略称「京都芸大」、「京芸」などの名称(商標登録済)を大切に守り、市民により分かりやすくするため、本学名と略称を一体的に表記<京都市立芸術大学(京都芸大)>する取り組みや、本学以外の大学の略称に「京都芸大」「京芸」が使用されている事例があれば個々にお知らせし、表記の変更をお願いしていく本学の取り組みに賛同し協力してまいります。

また、両同窓会は、来年(2023年)の京都駅東地区へのキャンパス移転を大きな転機として捉え、本学が名実ともに日本を代表する総合的な芸術大学として多くの方々に評価いただけるよう、より一層の支援を続けてまいります。

同窓生各位におかれましては、今後とも引き続きご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2022年1月21日
京都市立芸術大学(京都芸大) 美術学部同窓会象の会
会長 望月 重延
音楽学部同窓会真声会
会長 登 博美

略称「京都芸大」の定着を図るために

真声会の皆様には、日頃から大学運営に多大な御協力を賜りまして誠にありがとうございます。

名称に関する訴訟につきましては、前号(73号)で会長から御報告いただきましたとおり令和3年7月20日に和解いたしました。その後、訴訟により止まっていた「京都芸大」の商標の審査が開始され、昨年10月、無事に商標を登録するに至りました。商標登録「京都芸大」の取得につきましては、本学HPでもお知らせしておりますので、登録内容の詳細につきましてはHPをご覧ください。

また、本学では、本学の略称、特に「京都芸大」についてより一層の社会への定着を図り、また、本学と瓜生山学園京都芸術大学との誤解を防ぐため、当面の間、本学が情報発信する際は、双方の大学の表記を「京都市立芸術大学(京都芸大)」「瓜生山学園京都芸術大学」とすることといたしました。新キャンパスの工事現場においても、仮囲いに「京都市立芸術大学(京都芸大)」と表記いただいております。

真声会の皆様におかれましても、御自身の活動を発信される際に、表記について御協力いただけますとありがたく存じます。

さらに、瓜生山学園京都芸術大学を指して「京都芸大」「京芸」を使用されている事例につきましては、名称や略称に係る混乱を避けるため、和解事項の内容や「京都芸大」「京芸」の商標は本学が取得していることを御案内し、表記の変更をお願いしております。そのような事例がございましたら、大学事務局(kyogei_machigai@kcua.ac.jp)まで根拠資料とともに御一報ください。

本学といたしましては、これまで以上に多くの方に京都芸大の活動を知っていただき、それと伴に「京都芸大」は本学の略称である旨の周知を図ってまいりたいと思っております。引き続き、皆様の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局総務広報課)

京芸だより

◎学部長就任のご挨拶



一年間だけになりますが、砂原悟前学部長のあとを受け継いで音楽学部長を努めさせていただくことになりました。まったく予想だにしない指名であり、移転を控えた最後の一年ですが、きちんと務まるのか不安の中での船出となりました。前学部長や事務局の方々のお力を借りながら、座礁しないように航海できればと願っているところです。

真声会の皆様におかれましては、日頃より様々なサポートやお力添えをいただき誠に有難うございます。去年は音響再生装置を購入させていただきましたが、今回はピアノ椅子 12 脚をご寄付いただく事ができました。ピアノの椅子はもちろんピアノ専攻の学生が使用するわけですが、それだけではなく他の楽器の学生たちもよく利用して練習しています。室内楽の合わせの際には、座面を上下できる機能が役に立ちます。そのお陰で様々な体格や楽器にも合致できるのですが、可動する部分がある

ということはその部分が酷使されます。そのため調節機構は意外にも早く破損を起こすので、いわば消耗品に近いものです。今回のように多くの数量を補充できるのは教育環境の充実のためにもとても有り難いことです。あらためて真声会の皆様にはお礼を申し上げたいと思います。

この原稿を書いている時点での世界情勢は、まさにロシア軍がウクライナに激しい攻撃を加えている最中です。早い時期の停戦と和解が望まれますが、どうなるのかはまだ先が読める状態ではありません。多くのウクライナ一般人が負傷し命を落とす状況の中で、地下の防空壕にはたくさんの人々が避難しています。先日拝見した映像ですが、避難した防空壕の中で一人の少女がヴァイオリンを弾いていました。人々は、音楽に聴き入りじっと耳を傾けていました。極限下での演奏は、実に美しく、人々の心を癒し、また力づけることができると感じさせる場面でした。音楽をするということは、それだけ価値のある人間の営みなのだと思うを得ません。

私たちも含め若い学生たちがそのような場面に遭遇することは無いでしょうけれども、その深い意味を秘めた音楽というものを学び励んでいくことは重要なことだと感じています。そのためにも真声会様とタッグを組んで前進していきたいと考えています。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

音楽学部長 阿部 裕之

◎人事異動のお知らせ

・退任（2022 年 3 月 31 日）

管・打楽専攻（打楽器） 山本 毅 教授
教職課程 宇佐美 朋子 講師

・着任（2022 年 4 月 1 日）

管・打楽専攻（打楽器） 森本 瑞生 講師
音楽学専攻 太田 峰夫 教授
教職課程 清水 久莉子 講師

法人理事 大嶋 義実 教授
音楽学部長 阿部 裕之 教授
音楽研究科長 村上 哲 教授

◎演奏会のご案内

※開場、開演時刻は予定ですので事前にご確認ください。また、新型コロナウイルス感染症の状況により、実施方法や内容に変更がある場合があります。

クロックタワーコンサート ※申込みは終了しました。

5 月 21 日（土）14:00 開場 / 15:00 開演 京都大学百周年時計台記念館
担当：指揮専攻、中田 延亮

ウエスティ音暦 1 事前申込制

6 月 4 日（土）13:30 開場 / 14:00 開演 京都市西文化会館ウエスティ
担当：管・打楽専攻

第 36 回ピアノフェスティバル 事前申込制

6 月 11 日（土）13:30 開場 / 14:30 開演 京都府立府民ホールアルティ

ホワイエコンサート 事前申込制

6 月 18 日（土）16:30 開演 京都国立近代美術館
担当：作曲専攻 進行：岡田 加津子教授

第 168 回定期演奏会

7 月 8 日（金）17:30 開場 / 18:30 開演 京都コンサートホール 大ホール
指揮：下野 竜也教授
曲目：ロン・ネルソン / パッサカリア～BACH へのオマージュ ～吹奏楽～
リチャルト・シュトラウス / 交響詩〈死と変容〉TrV158, op.24
アルフレッド・デザンクロ / 祈祷、呪詛と踊り
ロベルト・シューマン / 交響曲第 3 番変ホ長調〈ライン〉作品 97

オーケストラ協演！in ロームシアター京都

10 月 9 日（日）13:30 開場 / 14:00 開演 ロームシアター京都サウスホール

文化会館コンサート I 事前申込制（予定）

11 月 16 日（水）18:30 開場 / 19:00 開演 京都市北文化会館
担当：管・打楽専攻

ホワイエコンサート 事前申込制（予定）

11 月 19 日（土）16:30 開演 京都国立近代美術館
担当：声楽専攻 進行：北村 敏則准教授

ウエスティ音暦 2 事前申込制（予定）

11 月 26 日（土）13:30 開場 / 14:00 開演 京都市西文化会館ウエスティ
担当：弦楽専攻

7 月の定期演奏会は、無料で御入場いただけます。
入口前の真声会受付にて御記帳をお願いします。

2023 年度の移転に向け、移転整備募金への御協力を賜りますようお願い申し上げます。



支部報告

大阪支部

<http://senri-music.com/shinseikai-osaka/>「真声会大阪支部」でアクセス可

昨年12月19日、コロナ禍の状況は依然として不安定でしたが、今だからこそ開催の意義がある、と大阪市中央公会堂(中集会)にて特別企画「コロナ禍、そしてコロナ後の音楽の在り方は？」を開催しました。同窓生コンサート、ピアニストの佐藤卓史さんをお迎えしてミニリサイタル、佐藤さんの公開レッスン、座談会、と長丁場の企画に不安もありましたが、贅沢な空間に包まれて、若手同窓生のエネルギーあふれる演奏に熱いエールをおくり、佐藤さんのとびきり上質な音楽に酔いしれ、また出演者全員での座談会では、コロナ禍をプラスに捉えて今後の活動に活かしていくことなどの意見が交わされ、一般参加者も多く、京芸を内外に発信、交流できた充実した会になったと思います。

3月20日には会報118号を発行いたしました。5月15日に対面での総会(於:金蘭会高等学校)、また6月18日にはプロムナードコンサート(於:三田市郷の音ホールリハーサル室)を計画しております。まだ落ち着いた世情ではありますが少しずつ活動を復帰させていきたいと思っております。

事務局 e-mail<h.higuchi@kinran.ed.jp(樋口博行)>

副支部長 大富 栄里子(28期・ピアノ)

関東支部

本年1月、数年ぶりに京都を訪れました。京都駅に着く直前、新幹線の右側車窓からは背の高いクレーンが何本も立ち並ぶ工事現場が見えました。新校舎の建設、進んでるようですね。

平安神宮の裏手…岡崎にあった音楽学部の校舎。1年生はここで過ごし、2年生からは美術学部と統合して沓掛に移転しました。あれから40数年の年月が流れ…あと僅かで沓掛キャンパスの歴史も終わってしまうんですね。「月日は百代の過客にして、行き交ふ年もまた旅人なり」まさしく、そんな心境です。

さて、今年度の関東支部の活動ですが、総会は昨年同様に議案を郵送し、同封ハガキによって議決を頂くスタイルといたしました。また昨年&一昨年は開催出来なかった定期演奏会ですが、こちらは10月1日に開催する方向で準備を進めています。3年振りとなる演奏の機会、是非たくさんの支部会員に参加していただきたいと思っております。もう一つは会報の作成。必要最小限の活動となりますが、来年度へのステップとしたいです。

関東以北にお住まいの会員皆様、是非関東支部にもお入りくださり、同窓会の輪を広げて参りましょう。よろしくお願いいたします。

支部長 宇野 徹哉(28期・声楽)

京都支部

2021年度も、コロナ禍での緊急事態宣言のため、役員会で計画、企画をすすめるようとしていた催しを中止・延期せざるを得ませんでした。

9月に予定していた第37回プロムナードコンサートの中止・延期を決定後、6月以来、年が明けた1月により早く第3回の役員会を開催し、次年度総会や新卒者への京都支部への入会案内、第37回プロムナードコンサートなどについて、意見を出し合い開催に向けての検討をしました。8月にはオンラインで役員会を行いました。半年ぶりの役員会では改めて顔を合わせて会議することの大切さや良さを実感することができました。

僅かな減少傾向がみられるものの、まだ多くの感染者数が伝えられる中ですが、22年度京都支部総会を5月15日ウィングス京都にて開催予定で、総会の内容は必要最小限にしばらくとして準備をすすめています。また多方面でご活躍されている方の経験豊富なお話を聞かせていただく恒例の講演は残念ながら今回取りやめることとしました。

2年延期となった第37回プロムナードコンサート(9月24日、府民ホールアルティを会場に予定)については、ホールの感染拡大予防ガイドラインに基づくことはもとより、今後のコロナ禍の変化を見ながら実施できる状況であってほしいと祈るばかりです。

連絡先/宮崎友香子(38期・ピアノ) TEL & FAX 0774-93-3957 PC y.miyazaki.ykk@gmail.com

支部長 寒川 正晴(30期・ホルン)

滋賀支部

パンデミック収束が見えない中、一国の独裁者が主権国家を侵略するという暴挙に出て、ウクライナ国民の基本的人権が踏みにじられるという事態に陥っています。

世界に誇るべき日本国憲法では、基本的人権は国民の永久の権利で、「不斷の努力によってこれを保持しなければならない」とあります。我々にもこの決意を肝に銘じなければならない日がすぐそこに来ていると思います。

また、コロナ禍とはいえ、我々も日常を取り戻す努力が必要ですね。

滋賀支部ではまず、総会を 6 月 13 日（日）午後 2 時からレストラン「ヴェルツブルグ」にて茶話会を含む形で開催します。また支部演奏会「湖のしらべ」は 11 月 27 日（日）14:00 よりびわ湖ホール小ホールで開催するべく企画・準備しています。何れも感染予防対策を十分講じて実施できればと考えています。支部活動への皆様のご支援ご協力をよろしくお願いします。

滋賀支部事務局 井出 悟 TEL & FAX 077-579-2171 大津市日吉台 3-32-1

支部長 杉中 博（19 期・トランペット）

中部支部

新年度は、毎年支部総会から本格的に始動します。2 年ぶりの対面総会を行う予定で、久しぶりの会員交流が楽しみです。今回は初の試みとしてオンライン参加も可能とする予定。さらには「オンライン投票」システムも導入する見込み。真声会支部史上一番乗りではないかと（？）自負しております（笑）。昨年度の「音に集う会 Vol.6」は、コロナ禍の影響で延期から中止となり大変残念でしたが、その後、音楽界では珍しくない光景となってしまいました。その分、支部会報では情報発信に力を注ぎ、日本で、海外で、会員の方々がそれぞれ工夫をこらして過ごしている様子をお伝えしました。掲載記事がきっかけで連絡を取り合い、交友が深まったとのうれしい話も伺っています。新年度は委員の更新もあり、演奏会の企画も立ち上がっています。目下、出演者募集中ですので下記までご連絡ください。毎回の委員会は、日時を HP でお知らせし、オンラインでの参加も可能としています。無理ない範囲で IT 化を取り入れているといったところでしょうか。これからも支部活動を身近に感じていただき親睦をはかるとともに、会員各位の活動深化の一助になることを願っています。

連絡先 e-mail: ototsudo.con@gmail.com（中島） HP: <https://shinseikai-c.jimdo.com/>

支部長 中島 百合子（19 期・作曲）

奈良支部

3 月の茶話会は中止させていただきました。役員会は昨年 12 月 29 日に行いました。

2022 年定期演奏会を 6 月 19 日に行います 14 時開演（13 時開場）場所は秋篠音楽堂です。今回は奈良支部にとって節目となる第 20 回目の定期演奏会を記念して、京都市立芸術大学で長らく教鞭をとってくださったチェロの上村昇先生をゲストにお迎えし、一曲演奏していただくことになりました。

また司会を、2018 年の定期演奏会にご出演いただきとても好評だった 38 期生の柳楽正人さんをお願いしました。ぜひ皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

今回の支部総会は定期演奏会に合わせて、入場時に議事をお配りし、お帰りの時にご意見と賛同、反対の表明をいただく方法で行いたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

何かありましたら shinseikai_nara_shibu_info@yahoo.co.jp にご一報ください。

昨今の世界的情勢、平常に戻っていかれますように祈念します。

支部長 菊田 義典（42 期・声楽）

真声会会員のコンクール等受賞者

コンクール等受賞者の掲載に関しては、正確を期するため、大学の教授会で報告されたものを転載しております。真声会事務局への直接の受賞のご連絡は受け付けておりませんので、必ず、音楽学部教務課にご報告くださいますよう、ご理解、ご協力をお願いいたします。

<令和3年度後期(2021年10月～2022年3月教授会報告分)>

◆第24回松方ホール音楽賞 ピアノ部門
奨励賞
宇賀治 晴香(ピアノ専攻3回生)

◆サルドアル国際ピアノコンクール 2021
Senior Category 第1位
宇賀治 晴香(ピアノ専攻3回生)

◆2021年 第35回京都芸術祭 音楽部門
京都芸術祭京都市長賞
岡部 悦子(音楽学部非常勤嘱託員,ピアノ専攻卒業(1979年3月))

◆2021年 第35回京都芸術祭 音楽部門
京都芸術祭毎日新聞賞
磨 棕平(ピアノ専攻卒業(2021年3月))

◆2021年 第35回京都芸術祭 音楽部門
京都芸術祭新人賞
宮國 香菜(修士課程器楽専攻(ピアノ)2回生)

◆2021年 第35回京都芸術祭 音楽部門
京都芸術祭新人賞
森 百々恵(弦楽専攻(チェロ)卒業(2021年3月))

◆2021年 第35回京都芸術祭 音楽部門
京都芸術祭奨励賞
鶴我 日向子(ピアノ専攻2回生)

◆第23回日本演奏家コンクール 弦楽器部門
大学生の部 第3位
都呂須 七歩(弦楽専攻(ヴァイオリン)3回生)

◆第8回さかい九頭竜音楽コンクール ピアノ部門
金賞及び坂井市長賞
澤井 美樹(ピアノ専攻2回生)

◆第8回さかい九頭竜音楽コンクール 打楽器部門
金賞及び坂井市長賞
武曾 海結(管・打楽専攻(打楽器)2回生)

◆第31回宝塚ベガ音楽コンクール 木管部門
第6位及び宝塚演奏家連盟賞
西堀 志保(管・打楽専攻(フルート)卒業(2020年3月))

◆第10回サンポートホール高松デビューリサイタル
オーディション合格
吉田 春乃(管・打楽専攻(サクソフォン)4回生)

◆第22回岡山芸術文化賞
グランプリ
岡本 伸介(博士(後期)課程作曲・指揮領域(作曲)5回生)

◆第22回大阪国際音楽コンクール ピアノ部門 Age-G
第3位
中村 梨乃(ピアノ専攻2回生)

◆第22回大阪国際音楽コンクール ピアノ部門 Age-U
エスポアル賞
四宮 妃望(ピアノ専攻1回生)

◆第22回大阪国際音楽コンクール リサイタルコース部門
第2位
目賀田 侑伽(ピアノ専攻4回生)

◆第22回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-U
第2位
都呂須 七歩(弦楽専攻(ヴァイオリン)3回生)

◆第22回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-U
第3位
石井 里和(弦楽専攻(ヴァイオリン)3回生)

◆第22回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-U
第3位
井垣 旺士(弦楽専攻(コントラバス)2回生)

◆第22回大阪国際音楽コンクール 弦楽器部門 Age-U
エスポアル賞
温品 亜祐(弦楽専攻(ヴァイオリン)1回生)

◆第75回全日本学生音楽コンクール大阪大会本選
声楽部門 大学の部 第2位
佐々木 真衣(修士課程声楽専攻1回生)

◆第75回全日本学生音楽コンクール大阪大会本選
声楽部門 大学の部 奨励賞
高田 瑞希(修士課程声楽専攻1回生)

◆第75回全日本学生音楽コンクール大阪大会
チェロ部門 大学の部 第1位
井上 帆乃香(弦楽専攻(チェロ)2回生)

◆第75回全日本学生音楽コンクール大阪大会
チェロ部門 大学の部 第3位
柏木 基(弦楽専攻(チェロ)4回生)

◆第1回国際声楽コンクール東京 本選 大学生部門
第4位
濱野 萌々子(声楽専攻4回生)

◆第1回国際声楽コンクール東京 本選 新進声楽家部門
奨励賞
佐々木 真衣(修士課程声楽専攻1回生)

◆第90回日本音楽コンクール 声楽部門本選会
第2位
和田 悠花(修士課程声楽専攻修了(2017年3月))

◆第90回日本音楽コンクール トランペット部門本選会
第1位及び岩谷賞
藤井 虹太郎(管・打楽専攻(トランペット)3回生)

◆令和3年度札幌市民芸術祭 新人音楽会
札幌市民芸術祭奨励賞
成毛 涼香(ピアノ専攻卒業(2021年3月))

◆第17回仙台フルートコンクール
第3位
鎌田 邦裕(修士課程器楽専攻(フルート)修了(2018年3月))

◆第1回 Joseph Sammut Malta International Double
Bass Competition Kastilija Category 第2位
井垣 旺士(弦楽専攻(コントラバス)2回生)

◆第6回豊中音楽コンクール 弦楽器部門 大学・一般の部
第3位
片岡 紀楽々(弦楽専攻(ヴァイオリン)3回生)

◆第2回国際オカリナ・レイヴンコンクール 独奏部門 A
第3位
栗辻 泰史(管・打楽専攻(フルート)卒業(1981年3月))

◆第57回伊声楽コンクール本選
入選
和田 悠花(修士課程声楽専攻修了(2017年3月))

◆アマチュア第25回阪神淡路大震災復興記念 KOSMA 管
楽器コンクール 音楽専攻クラス 金賞及び兵庫県知事賞
赤瀬 有芽(管・打楽専攻(サクソフォン)2回生)

◆のせでんアートライン 2021―「光」と「音」と「食」
の芸術祭―一般公募 入賞
橋爪 皓佐(修士課程作曲・指揮専攻(作曲)修了(2014年3月))

◆第75回全日本学生音楽コンクール全国大会
チェロ部門 大学の部 第1位
井上 帆乃香(弦楽専攻(チェロ)2回生)

◆第75回全日本学生音楽コンクール全国大会
チェロ部門 大学の部 入選
柏木 基(弦楽専攻(チェロ)4回生)

◆第8回東京国際ピアノコンクール 大学生部門
審査員賞
中森 瑞貴(ピアノ専攻3回生)



◆第 15 回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース
弦楽器部門 大学・院生 A の部 第 1 位
都呂須 七歩（弦楽専攻（ヴァイオリン）3 回生）

◆第 15 回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース
弦楽器部門 大学・院生 A の部 第 2 位
石井 里和（弦楽専攻（ヴァイオリン）3 回生）

◆“Hama-Con-Plex” World Premiere Showcase
作曲家賞
古谷 華梨（修士課程器楽専攻（ピアノ）3 回生）

◆第 8 回あおによし音楽コンクール奈良 2021
声楽 プロフェッショナルステージ 第 1 位
佐々木 真衣（修士課程声楽専攻 1 回生）

◆第 8 回東京国際ピアノコンクール 一般部門
第 4 位
中野 万里子（ピアノ専攻卒業（1979 年 3 月））

◆第 1 回芦屋音楽コンクール 大学生の部
第 3 位
山本 陽世（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 2 回ひのっ子ピアノコンクール+ 本選
第 5 位
鶴我 日向子（ピアノ専攻 2 回生）

◆第 31 回日本クラシック音楽コンクール 大学女子の部
第 5 位
生駒 由奈（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 2 回ワイトゲンシュタイン記念 左手のピアノ国際
コンクール プロフェッショナル作曲部門 第 2 位
土方 渚紗（作曲専攻 3 回生）

◆第 12 回ヨーロッパ国際ピアノコンクール in Japan
全国大会 大学 A 部門 ディプロマ賞
八島 碧（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 15 回ベーテン音楽コンクール 自由曲コース
ピアノ部門 一般 A I の部 第 1 位
塩田 藍（修士課程器楽専攻（ピアノ）修了（2010 年 3 月））

◆第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
全国大会 ソロアーティスト部門 金賞
中野 万里子（ピアノ専攻卒業（1979 年 3 月））

◆第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
全国大会 大学生部門 銀賞
稲山 莉乃碧（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
全国大会 大学生部門 銀賞
山本 陽世（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 2 回全日本ピアノコンクール 大学生部門
第 8 位
中森 瑞貴（ピアノ専攻 3 回生）

◆第 5 回国際モスクワ音楽オンラインコンクール
ピアノ部門 18 歳～ 21 歳カテゴリー 第 1 位
四宮 妃望（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 5 回国際モスクワ音楽オンラインコンクール
ピアノ部門 22 歳～ 25 歳カテゴリー 第 2 位
成毛 涼香（ピアノ専攻卒業（2021 年 3 月））

◆第 10 回 Kジュニア & 学生音楽コンクール 大学・一般部門
優秀賞
稲山 莉乃碧（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 27 回 KOBE 国際音楽コンクール 弦楽器 C 部門（大
学生・一般）最優秀賞及び神戸市長賞
山内 睦大（修士課程器楽専攻（チェロ）3 回生）

◆第 27 回 KOBE 国際音楽コンクール 声楽 C 部門（大
学生・一般）優秀賞及び兵庫県文化協会賞
熊木 夕菜（修士課程声楽専攻 1 回生）

◆第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
アジア大会 ソロアーティスト部門 銀賞
中野 万里子（ピアノ専攻卒業（1979 年 3 月））

◆第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA
アジア大会 大学生部門 銀賞
山本 陽世（ピアノ専攻 1 回生）

◆第 6 回フューチャースターズ国際ピアノコンクール
Category Piano Masters（年齢制限なし） 第 3 位
中野 万里子（ピアノ専攻卒業（1979 年 3 月））

◆Concours de Saxophone Parisien（第 7 回パリジャン
サクソフォンコンクール）SOLISTE 部門 第 3 位
濱田 侑里（管・打楽専攻卒業（2021 年 3 月））

◆第 23 回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA オン
ラインアジア大会 ソロアーティスト部門 銀賞
中野 万里子（ピアノ専攻卒業（1979 年 3 月））

◆第 41 回有馬賞
下野 竜也（指揮専攻教授）

◆令和 3 年度地域文化功労者表彰
宮下 直子（音楽学部非常勤講師）

◆第 40 回京都府文化賞 奨励賞
田村 響（ピアノ専攻講師）

◆第 40 回京都府文化賞 功労賞
本山 秀毅（音楽学部非常勤講師，声楽専攻卒業（1983 年 3 月））

◆令和 3 年度京都市芸術新人賞
金剛 龍謹（音楽学部非常勤講師）

◆令和 3 年度京都市芸術新人賞
福田 彩乃（博士（後期）課程器楽領域（サクソフォン）2 回生）

◆京都市文化芸術きらめき賞
和田 悠花（修士課程声楽専攻修了（2017 年 3 月））

◆京都市文化芸術みらい賞
藤井 虹太郎（管・打楽専攻（トランペット）3 回生）

◆京都市文化芸術みらい賞
井上 帆乃香（弦楽専攻（チェロ）2 回生）



後援演奏会情報

♪アフター・アワーズ・セッション

「クリスマスのポップ 2021」

日時：2021年12月23日(木) 19:00

会場：日本基督教団 島之内教会

出演：右近恭子(25期Pf)、日野俊介(29期Vc)、松原央樹(29期Cl)

♪オカリナ & マリンバデュオ「森の詩」コンサート 2022

<大阪公演>

日時：2022年1月23日(日) 14:00

会場：南港サンセットホール

<岡山公演>

日時：2022年2月27日(日) 13:00

会場：鏡野町ペスタロッツ館 夢ホール

出演：佐々木一真(53期Tb)、可児麗子(54期Perc)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~ 主催ソワレの会

日時：2022年1月27日(木) 19:00 開演

会場：伊丹アイフォニックホール メインホール

出演：信多仁子(32期Pf)、栗木充代(34期Vo)

上木裕子(34期Vo)、中西金也(49期Vo)

♪小林千晶フルートリサイタル(公財) 青山音楽財団助成公演

日時：2022年1月29日(土) 14:00

会場：青山音楽記念館バロックザール

出演：小林千晶(63期Fl)、辰野翼(58期Pf)

♪ピアノ四重奏コンサート

日時：2022年1月29日(土) 2回公演【13時開演 / 15時30分開演】

会場：兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 401号室

出演：加茂夏来、西尾安梨沙(61期Vn)、藤田菜央(61期Pf)

♪2つのデュオリサイタル

日時：2022年2月4日(金) 19:00

会場：京都府民ホール「アルティ」

出演：脇坂英夫(24期Tb)

♪ピアノとダンスによる火の鳥ほか ~躍動するユーラシア

日時：2022年2月11日(金・祝) 14:00

会場：西宮市甲東ホール

出演：志賀俊亮(61期Pf)

♪ Renaiss Music Incubation Vol.3 マリンバデュオ TIERRA

色とりどりの世界 Vol.3

日時：2022年2月20日(日) 14:00

会場：ルネスホール(おかやま旧日銀ホール)

出演：可児麗子(54期Perc)、佐々木一真(53期Tb)

♪中部真美ソプラノリサイタル

日時：2022年2月22日(火) 18:30

会場：名古屋 伏見 電気文化会館 ザ・コンサートホール

出演：中部真美(62期Vo)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~ 主催ソワレの会

日時：2022年2月24日(木) 19:00 開演

会場：兵庫県立芸術文化センター小ホール

出演：信多仁子(32期Pf)、栗木充代(34期Vo)、上木裕子(34期Vo)

♪アフター・アワーズ・セッション

「キャトル・スール パリからの便り 春風に載せて」

日時：2022年3月3日(木) 19:00

会場：ムラマツ・リサイタルホール

出演：右近恭子(25期Pf)、池村佳子(25期Vc)

♪名取裕子ピアノコンサート vol.6 ~時の流れの森~

日時：2022年3月5日(土) 14:00

会場：和泉市久保惣記念美術館

出演：名取裕子(34期Pf)

♪ Piano ! Piano ! Piano ! Vol.3

- ピアノ…そのさらなる可能性をもとめて -

日時：2022年3月5日(土) 17:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：岩谷寿美子(30期Pf)、部幾世子(30期Pf)、一ノ瀬

夏美(28期Pf)、大富栄里子(28期Pf)、水野雅子(26期Pf)

♪ An Evening of Art Songs ~歌曲の夕べ~ 主催ソワレの会

日時：2022年3月29日(火) 18:30 開演

会場：兵庫県立芸術文化センター小ホール

出演：信多仁子(32期Pf)、中西金也(49期Vo)

♪石原祐介バリトンリサイタル~さすらう若人の歌~

日時：2022年3月20日(日) 14:30

会場：京都府立府民ホールアルティ

出演：石原祐介(46期声楽)

♪ドビュッシー生誕 160 年記念歌曲演奏会 第一夜 主催ソワレの会

日時：2022 年 4 月 1 日（金）19:00 開演

会場：豊中市立文化芸術センター 小ホール

出演：信多仁子（32 期 Pf）、上木裕子（34 期 Vo）

♪室内楽団 möglich 2nd concert

日時：2022 年 4 月 2 日（土）14:00

会場：遠藤剛熙美術館

出演：西堀志保（65 期 Fl）、東出菜々（65 期 Cl）、陶山咲希（65 期 Fg）

♪白石尚美 サクソフォンリサイタル

日時：2022 年 4 月 2 日（土）18:00

会場：阿倍野区民センター 小ホール

出演：白石尚美（院 32 期 Sax）

♪ドビュッシー生誕 160 年記念歌曲演奏会 第二夜 主催ソワレの会

日時：2022 年 4 月 7 日（木）19:00

会場：豊中市立文化芸術センター 小ホール

出演：信多仁子（32 期 Pf）、栗木充代（34 期 Vo）、中西金也（49 期 Vo）

♪第 5 回関西西ロシア歌曲研究会コンサート

「ムソルグスキーを歌う」

日時：2022 年 4 月 17 日（日）14:00

会場：大阪市立 東成区民センター [小ホール]

出演：藤原 さおり（46 期 Vo）、宋 和映（55 期 Pf）

♪《春日遅遅》Ema et Hwayoung ～歌とピアノと詩と～

日時：2022 年 5 月 6 日（金）19:00

会場：中之島中央公会堂小会議室

出演：宋和映（55 期 Pf）

♪Klavierstunde 池田董&三上翼ジョイントピアノリサイタル

日時：2022 年 5 月 7 日（土）14:00

会場：今福音楽堂

出演：池田董（62 期 Pf）、三上翼（62 期 Pf）

♪藤井夢音ピアノリサイタル

日時：2022 年 5 月 14 日（土）14:00

会場：豊中市立文化芸術センター 小ホール

出演：藤井夢音（64 期 Pf）

♪古の音 奏でる現在 ～古楽器によるバロック音楽の調べ～

日時：2022 年 6 月 4 日（土）15:00

会場：日本基督教団 聖愛教会

出演：岡本裕美（40 期 Pf）、野田祐子（44 期 Vc）

♪古の音 奏でる現在 ～古楽器によるバロック音楽の調べ～

日時：2022 年 6 月 9 日（木）19:00

会場：りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 スタジオ A

出演：岡本裕美（40 期 Pf）、野田祐子（44 期 Vc）

♪古の音 奏でる現在 ～古楽器によるバロック音楽の調べ～

日時：2022 年 6 月 11 日（土）17:00

会場：日本ホーリネス教団 東京中央教会

出演：岡本裕美（40 期 Pf）、野田祐子（44 期 Vc）

♪アンサンブル・ならく 第 1 回演奏会

日時：2022 年 6 月 14 日（火）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：江戸聖一郎（49 期 Fl）、岡本真弓（43 期 Fg）

♪クラシックサマーコンサート

日時：2022 年 7 月 2 日（土）14:00

会場：京都市北文化会館 創造活動室

出演：今井順子（44 期 Vo）、吉田麻佐（44 期 Vo）

中安容子（42 期 Vo）、岩城かおり（50 期 Pf）

♪新進演奏家育成プロジェクトリサイタル・シリーズ

OSAKA45 和田悠花ソプラノリサイタル

日時：2022 年 7 月 22 日（金）19:00

会場：住友生命いずみホール

出演：和田悠花（60 期 Vo）、増永弦（65 期 Pf）

♪栗木充代メゾ・ソプラノリサイタル 対話する時間 V

日時：2022 年 9 月 29 日（木）19:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：栗木充代（34 期 Vo）

♪星山智子ピアノリサイタル

日時：2022 年 11 月 19 日（土）14:00

会場：兵庫県立芸術文化センター 神戸女学院小ホール

出演：星山智子（50 期 pf）

真声会理事会報告

2021年度 第3回理事会

日時 2021年12月14日(火) 19時～21時

会場 京都聖ヨハネ教会 会議室

出席者

理事：登博美、山本千壽、樋上由紀、杉中博、佐藤敏子、阿部千鶴
中村公俊、小松淳史

監査役：朴実、笹まり恵

- 議題 1. 名称問題裁判について
2. 象の会との話し合いについて
3. 真声会70周年記念事業(2025年)について
4. その他

2021年度 第4回理事会

日時 2022年3月16日(水) 19時～21時

会場 京都聖ヨハネ教会 会議室

出席者

理事：登博美、山本千壽、杉中博、佐藤敏子、山本毅、阿部千鶴
中村公俊、小松淳史

監査役：朴実、笹まり恵

- 議題 1. 真声会賞選考
2. 教育支援寄付金について
3. 役員選挙について
4. アートオークション2023について
5. 事業計画、予算案について
6. 会報74号について
7. 真声会70周年記念事業(2025年)について
8. その他

本会は令和7年(2025年)に創立70周年を迎えます。これに向け、現在、理事会では記念事業としてベートーヴェンの交響曲第9番をメインとした演奏会を計画しております。また、演奏会に合わせて本会のことをより多くの皆さまに認知していただくとともに、未来に引き継いでいくため、これまでの歩みを記したプログラムの作成を検討しております。前回会報でもお願いしましたが、引き続き、プログラム作成のための資料をご提供いただきますようお願い申し上げます。

真声会 2022年度 総会のご案内

コロナ禍のため、2年にわたり総会を中止しておりましたが、今年度は、感染対策を徹底しながら開催いたします。お忙しいこととは存じますが、ぜひご出席いただきますようご案内申し上げます。(同封の「総会案内及び資料」をご参照ください。)

記

- 日時 2022年6月12日(日) 総会 午後2時～午後4時
- 場所 「WITH-YOU(ウィズ・ユー)」(寺町通、錦小路上る、西側。阪急河原町駅から徒歩5分)
- 総会 「2022年度真声会総会議案書」及び添付の資料をご参照ください。

- 出欠の返信は、同封の返信用ハガキにて、5月27日(金)までにお願いします。
- ご欠席の場合は、委任状か議決権行使書の提出をお願い致します。
- ご不明な点がございましたら、事務局(080-6185-4494)までお問い合わせください。

訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1期 新井 省吾様(ピアノ) | 14期 松井 昭彦様(作曲) |
| 1期 山瀬 禎子様(声楽) | 20期 江口 龍二様(ヴァイオリン) |
| 3期 笹岡 明子様(声楽) | 20期 山本 和子様(声楽) |

教育活動支援寄付金のお礼

2016 年より開始し、2021 年 11 月で 12 回目を迎えた「京芸音楽学部に対する活動支援の寄付金募集」には、たくさんのご賛同をいただきました。皆様、ありがとうございました。心より厚く感謝申し上げます。寄付金の総額は 792,000 円でした。

会報 72 号の「京芸だより」で、砂原音楽学部長から報告がありましたとおり、いただいた寄付金で、大合奏室と小合奏室それぞれに音響再生装置を、また、今号で新阿部学部長から報告いただいたとおり、ピアノ椅子 12 脚を購入し、寄贈することができました。どちらも、移転後も使用可能なもので、大変喜ばれています。

大学は、いよいよ来年、移転します。大学で「移転整備募金」が始まったこともあり、前回をもちまして、事業を終了させていただくことになりました。大学移転を控えている状況において、現在の教育環境を整え、学生が不便を感じることをないようにするという目的は、皆さまのおかげで達成できました。ご協力ありがとうございました。

今後は、大学の「移転整備募金」で、移転に伴い必要となる教育研究のための機器や楽器の購入など、教育研究環境の充実にご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

寄付者一覧（敬称略、50 音順）

秋山喜久子	大村益雄	蔵田由美子	田村直子	朴実
有川長吉	神西敦子	光野文代	土屋榮	樋上由紀
石尾光子	片山美晴	小林芳子	中島百合子	藤田恭子
井上和子	加藤千恵子	嵯峨根和子	中村芙美子	三宅マチ
伊吹日向子	金丸文子	定金麻衣子	中村力也	森近朝日
翁道明	金森重裕	鈴木安子	並河恭子	吉田温子
太田陽子	木田 佳余	多鹿千恵子	南保恵子	
大谷有香	北村千絵	竹内恵子	新実悦子	他 3 名
大津佳子	口村尚美	田中洋子	温品亜佑	



楽譜・音楽書・CD 等寄贈のお礼

楽譜等を寄贈いただいた皆様、ありがとうございました。現在作業中のため、正確な数は未だ不明ですが、楽譜・音楽書を約 2,000 冊、CD を約 6,000 枚寄贈いただきました。音楽棟のラウンジスペースに置かれた楽譜や CD は、学生が自由に借りることができ、アンサンブルの音出しや、副科のレッスンの際に、大活躍していました。

現在は、別の場所に移し、図書館に寄贈するためのリストアップ作業をしております。ただし、全ての寄贈は難しく、既に図書館に蔵書があり重複しているものや、状態の悪いものなどは寄贈することができません。それらに関しては、元のように、学生が自由に使えるような方法を検討したいと考えております。ご協力ありがとうございました。

事務局からのお知らせ



●演奏会後援申請書について

- ・申請書は、FAX かメールでお送りください。
- ・お急ぎの場合は、メールでの申請の方がより速く回答可能です。(真声会 HP が開きます)
- (FAX の場合、お返事も FAX でするので、日中しかお返事出来ません。)
- ・後援申請書は、ホームページ (<http://shinseikai-kcua.net>) からダウンロード出来ます。
- ・メールでの申請の場合は、プリントアウトした申請書に自筆で記入の上、スキャンしてお送りください。(PDF ファイルへのソフトを使った書き込みの場合、文字化けなどのエラーがよく起こりますので、ご遠慮下さい。)
- ・終身会費を収めていただいていることが後援の条件となります。
- ・真声会のロゴを使用して頂けます。

●ナクソス・ミュージック・ライブラリーの利用申し込みについて

終身会費を納入済みの方は、ナクソス・ミュージック・ライブラリーがお使いいただけます。

ナクソス・ミュージック・ライブラリーは、クラシック音楽(約 190 万曲)に特化された、有料定額制(一般人登録費、月額 2,035 円)の、インターネット音楽配信サービスです。申込書は、ホームページからダウンロードできます。

※申し込み済みにも関わらず、事務局より ID とパスワードの返事がない場合は、ご連絡ください。

●住所変更の届出について

住所や、氏名に変更があった場合には、ホームページから手続きをしてください。

●宛名シールをご確認下さい

会員番号(0 から始まる 5 桁)や、会費納入の状況を、宛名のシールに記載しております。ご確認ください。会費納入の状況が違う場合は、ご連絡ください。

●会員証の発行について

会員証がお手元に届いてない方や、再発行を希望される方は、切手を貼った返信用封筒を、事務局までお送り下さい。最新の特典は、ホームページでご確認の上、商品購入の際に、店頭にてお確かめください。



京都市立芸術大学音楽学部同窓会
Kyoto City University of Arts Alumni Association

発行所

真声会 京都市立芸術大学音楽学部内

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町 13 番地の 6

TEL : 080-6185-4494 FAX : 075-320-2520

e-mail : shinsei@kcua.ac.jp

HP : <http://www.shinseikai-kcua.net>

Facebook : <https://www.facebook.com/KCUA.AlumniAssociation.Shinseikai>

郵便振替口座 01070-4-16071 真声会